

Ryukyu

ILD Supportive Care Seminar

～医師とメディカルスタッフで共に栄養療法を考える～



会場

ザ・ナハテラス 3階 ユウナ

沖縄県那覇市おもろまち2-14-1



開催日

2/17

(火曜日)

19:00～20:20

ご視聴URL: go.boehringer.com/Ryukyu

ウェビナーID 987 1303 1969 パスコード 161648

※本会は事前登録制です。

● **オープングリマークス** 19:00-19:05

赤嶺 盛和 先生 沖縄赤十字病院 院長

● **特別講演** 19:05-19:45

座長: 佐渡山 伸子 先生 那覇市立病院 呼吸器内科 科長

演者: 山川 英晃 先生 さいたま赤十字病院 呼吸器内科 副部長

「 **間質性肺炎に対するアプローチ**
～栄養管理と多職種連携の重要性を再認識～」

● **パネルディスカッション** 19:45-20:15

ディスカッションテーマ

「 **間質性肺疾患患者の栄養指導の実際と課題** 」

座長: 大湾 勤子 先生 独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院 院長

パネリスト: 知花 凜 先生 友愛医療センター 呼吸器内科

パネリスト: 赤坂 さつき 先生 独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院
栄養管理室 栄養管理室長

● **クロージングリマークス** 20:15-20:20

富山 真人 先生 沖縄第一病院 副院長

主催: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

プログラム

【ご挨拶】

間質性肺炎は高齢化に伴い罹患数・死亡数も上昇の傾向にあります。間質性肺炎は肺機能の低下が全身の骨格筋量・筋力低下につながり、サルコペニア（筋肉量・筋力低下）を引き起こすリスクがあります。また、呼吸筋の低下も起こるため、体力低下や呼吸機能の悪化を招き、生活の質の低下につながります。

そのような状況から間質性肺炎においても医師とメディカルスタッフが協力して薬物療法だけでなく、栄養指導や呼吸リハビリテーションを合わせて行う事で患者さんのQOLを保つ取り組みが求められております。

今回の講演会を通じて医師・メディカルスタッフが共に間質性肺炎の栄養療法の必要性を理解し・実践するきっかけとなればと思っております。積極的な御参加をよろしくお願いいたします。

沖縄病院 院長 大湾 勤子

参加申込みのご案内

（FAX又はWEB登録）

FAXで参加申し込みをご希望の方は下記に
必要事項を記載のうえ番号宛にご返信下さい。

「WEB登録、視聴方法のご案内」にてWEBからの登録も可能です。

ご施設名:

お名前:

参加形式: 現地参加 ・ WEB視聴参加

※WEB視聴をご希望の場合記下さい。URLに関する案内をお送り致します。

メールアドレス:

ご入力いただきました個人情報は、本講演会の目的にのみ使用いたします。

FAX送信先: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社宛 **【03-6417-2309】**

WEB登録、視聴方法のご案内

（こちらから事前登録可能です。）

下記URLまたは二次元コードからアクセスして事前登録を行ってください。

事前登録完了後、メールにて参加用URLを配信させていただきます。

事前登録用URL:

go.boehringer.com/Ryukyu

ウェビナーID 987 1303 1969 パスコード 161648

